



2015年3月期 第3四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2015年2月4日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



2015年3月期 第3四半期累計実績

- 好調な北米市場に加え、新型WRXやレヴォーグなど新型車が好調に推移し、第3四半期累計期間として、過去最高の販売台数を記録
- 販売台数の拡大に加え、為替レート差、原価低減の進捗により、費用の増加を打ち消し、第3四半期累計期間として過去最高の売上高、各利益を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆607億円 (+3,522億円)	3,102億円 (+768億円)	2,884億円 (+669億円)	1,904億円 (+88億円)	663.7千台 (+70.3千台)

2015年3月期 計画

- 想定為替レートの変更等を織り込み、業績計画を上方修正
- 米国での好調な販売などによる販売台数の増加や、為替レート差、原価低減の進捗により、諸経費等の費用増加を打ち消し、売上高、各利益、連結販売台数において3年連続での過去最高業績を見込む

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	2兆8,500億円 (+4,419億円)	4,100億円 (+835億円)	3,920億円 (+776億円)	2,530億円 (+464億円)	906.1千台 (+81.0千台)



2015年3月期 第3四半期累計 実績

第3四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
登録車	86.9	83.5	▲3.4
軽自動車	37.0	22.3	▲14.6
国内合計	123.9	105.9	▲18.0
米国	326.4	398.7	+72.3
カナダ	27.2	32.0	+4.8
ロシア	9.5	10.8	+1.3
欧州	23.5	22.9	▲0.6
豪州	29.6	28.2	▲1.4
中国	29.6	40.7	+11.2
その他	23.8	24.5	+0.7
海外合計	469.5	557.8	+88.3
合計	593.4	663.7	+70.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~9月

3

2015年3月期 第3四半期累計の連結販売台数は、第3四半期累計期間として過去最高となる66万3千7百台となりました。

国内では、新型車レヴォーグやWRXの販売は順調に進捗したものの、消費税増税による影響などから、軽自動車などでの販売台数が減少し、前年同期比1万8千台の減となる10万5千9百台となりました。

海外では、フルモデルチェンジを行った新型レガシィに加え、フォレスターなど、既存車も好調な米国市場がけん引役となり、8万8千3百台の増となる55万7千8百台となりました。

第3四半期累計 連結業績



(億円)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	17,085	20,607	+3,522
国内	4,788	4,419	▲369
海外	12,297	16,189	+3,891
営業利益	2,334	3,102	+768
営業外損益	▲119	▲218	▲99
経常利益	2,214	2,884	+669
特別損益	457	▲17	▲474
税前利益	2,671	2,867	+196
当期純利益	1,815	1,904	+88
単独為替レート	¥98/US\$	¥105/US\$	+¥7/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

売上高、各利益ともに、第3四半期累計期間として、過去最高を記録しました。

売上高は、海外での売上台数拡大による売上構成差の改善+2,475億円に加え、為替レート差+978億円、カンパニー等での売上増加+69億円により、前年同期比3,522億円の増収となる2兆607億円となりました。

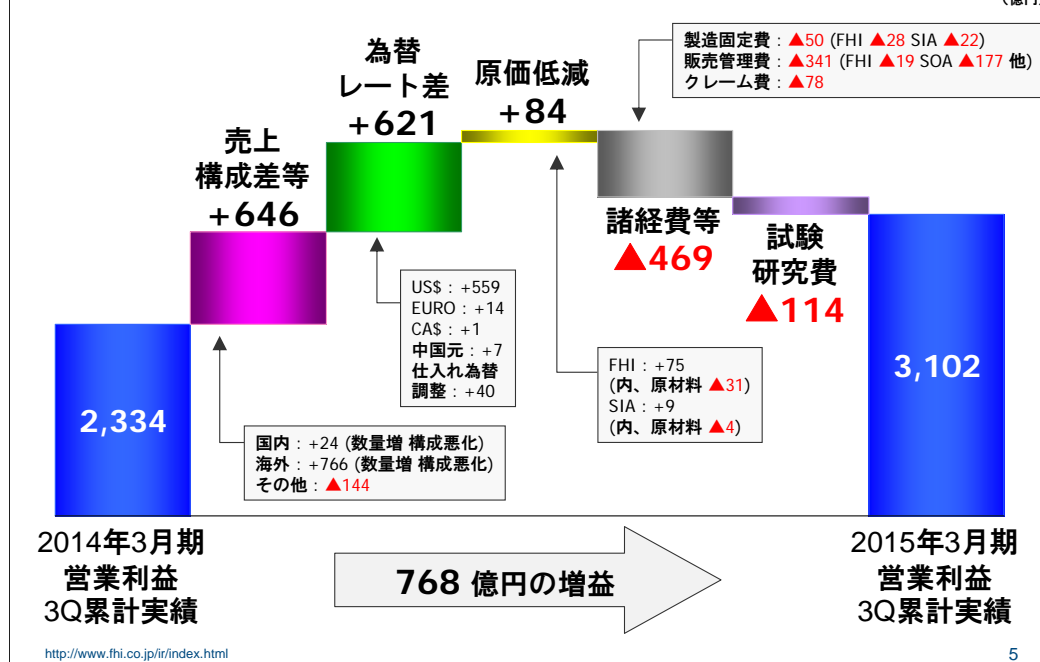
営業利益につきましては、販売台数増加等による売上構成差の改善や、為替レート差、原価低減の進捗が、諸経費と試験研究費の増加を打消し、768億円の増益となる3,102億円となりました。

経常利益は669億円の増益で、2,884億円、税前利益につきましては、前年は投資有価証券の売却473億円を計上していたことから、196億円の増益となる2,867億円、当期純利益は88億円増益の1,904億円となりました。

第3四半期累計 営業利益増減要因



(億円)



5

前期実績2,334億円から今期実績3,102億円へと、768億円の増益となった営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>売上構成差等で+646億円です。

①新車国内は+24億円です。消費税増税の影響により販売台数は減少したものの、新規車種レヴォーグとWRXの順調な販売が寄与しました。

②新車海外は+766億円です。好調な販売が続く米国に加え、各市場で新型WRXの販売が伸びたことなどから、数量が前年を大きく上回りました。

③在庫調整等で-144億円です。

<2>為替レート差で+621億円です。

ドルは約7円の円安で+559億円です。ユーロは約9円の円安で+14億円、カナダドルは若干の円安で+1億円です。中国元で+7億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+40億円となりました。

<3>原価低減で+84億円です。

富士重工が+75億円、SIAは+9億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+106億円、原材料・市況等については-31億円となりました。SIAでは原価低減が+13億円、原材料等は-4億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増加で-469億円です。

①製造固定費の増加により-50億円です。そのうち、富士重工が-28億円、SIAは-22億円です。富士重工では、外製型費の減により+27億円、固定加工費の増で-55億円です。SIAでは、外製型費の増により-7億円、固定加工費の増により-15億円となりました。

②販売管理費の増加で-341億円です。富士重工では、海外向け販売台数の増加による運賃梱包費の増加などから、-19億円となりました。国内ディーラーは+2億円、SOAは-177億円、カナダ子会社は-17億円、その他で-130億円となりました。

③クレーム費の増で-78億円です。

<5>試験研究費の増加で-114億円です。

以上で、2015年3月期 第3四半期累計の連結営業利益は、768億円の増益となる3,102億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2014年3月末	2014年12月末	増減
総資産	18,884	20,674	+1,790
流動資産	12,738	13,588	+851
固定資産	6,146	7,085	+939
有利子負債	2,697	2,268	▲429
純資産合計	7,701	9,632	+1,932
利益剰余金	4,839	6,257	+1,418
自己資本	7,655	9,554	+1,899
自己資本比率	40.5%	46.2%	+5.7
D/Eレシオ	0.35	0.24	▲0.11

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

総資産につきましては、2014年3月末から1,790億円の増加となる2兆674億円となりました。前期分の税金や、配当の支払いがあった一方で、当期純利益の計上や、為替が円安に進んだことなどが寄与しました。

有利子負債は、429億円の減少となる、2,268億円となりました。

純資産は1,932億円の増加となる9,632億円となり、自己資本比率は46.2%、D/Eレシオは0.24となりました。

第3四半期累計 連結キャッシュフロー



(億円)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
営業活動CF	2,215	1,773	▲442
投資活動CF	▲121	▲1,165	▲1,044
フリーCF	2,094	608	▲1,486
財務活動CF	▲547	▲935	▲388
換算差額	145	273	+129
手元資金増減	1,691	▲54	▲1,745
手元資金合計	4,982	5,524	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払い1,825億円や、高操業による運転資金の増加などがありましたが、税前利益2,867億円の計上などから、1,773億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、1,165億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、608億円です。

財務活動によるキャッシュフローは、借入金の返済や、配当の支払いなどにより935億円のキャッシュアウトとなりました。

第3四半期累計 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	8,115	10,115	+2,000
営業利益	199	417	+218
当期純利益	123	259	+136
小売販売台数(千台)	330.5	399.9	+69.4

SIA	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	2,817	3,424	+607
営業利益	162	121	▲41
当期純利益	102	81	▲21
スバル生産台数(千台)	119.7	149.2	+29.5

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売台数は、フォレスター・XVおよび新型レガシィ・アウトバックの好調な販売により、対前年6万9千4百台増の39万9千9百台となりました。

売上高についても、\$2,000Mの増収となる\$10,115Mとなりました。

営業利益につきましては、数量・構成差+\$395M、販管費の増-\$177Mにより、\$218Mの増益となる\$417Mとなりました。

SIAの売上高は、\$607Mの増収となる、\$3,424Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差-\$28M、原価低減活動 \$+9M、固定費増-\$22Mにより、\$41Mの減益となる\$121Mとなりました。



2015年3月期 見通し

通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
登録車	126.1	124.3	▲1.8
軽自動車	55.5	37.0	▲18.5
国内合計	181.6	161.3	▲20.3
米国	441.8	527.3	+85.5
カナダ	36.0	42.2	+6.2
ロシア	15.3	12.6	▲2.7
欧州	31.8	33.8	+2.0
豪州	39.5	38.6	▲0.9
中国	44.8	53.8	+9.0
その他	34.3	36.6	+2.3
海外合計	643.5	744.8	+101.3
合計	825.1	906.1	+81.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

2015年3月期 通期の連結販売台数につきましては、90万6千1百台を計画します。

中国やロシアなど、足元での販売状況を鑑み、第2四半期決算発表時の計画から、3千3百台の下方修正を行うものの、3年連続での過去最高販売台数の更新を目指します。

国内では、昨年11月に投入した新型レガシィや、レヴォーグ、WRXなど、新型車は好調に推移するものの、軽自動車等での台数減少を見込み、前年同期比2万3百台の減となる16万1千3百台を計画します。

海外では、好調な販売が続く米国市場がけん引役となり、10万1千3百台の増となる74万4千8百台を計画します。

通期 連結業績



(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	24,081	28,500	+4,419
国内	6,721	6,483	▲237
海外	17,361	22,017	+4,656
営業利益	3,265	4,100	+835
経常利益	3,144	3,920	+776
税前利益	3,289	3,840	+551
当期純利益	2,066	2,530	+464
単独為替レート	¥100/US\$	¥108/US\$	+¥8/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

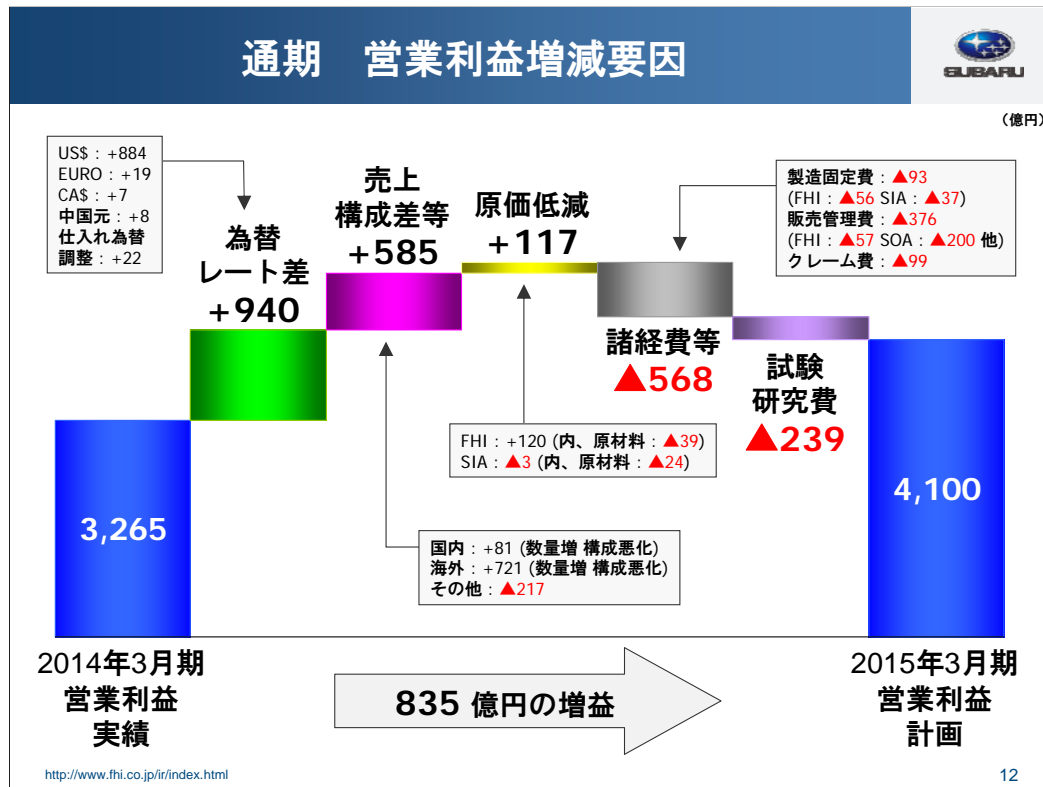
11

足元での為替変動の影響を織り込み、前回計画からすべての項目で上方修正を行います。売上高、すべての利益段階で、3年連続での過去最高業績を目指します。

売上高は、海外での販売台数増加による売上構成差の改善+2,755億円、為替レート差+1,559億円、カンパニー等での売上増加+105億円により、前年同期比4,419億円の増収となる2兆8,500億円を計画します。

営業利益につきましては、為替レート差、売上構成差の改善、原価低減の進捗により、諸経費、試験研究費の増加を打消し、835億円の増益となる4,100億円を見込みます。

経常利益は776億円の増益で3,920億円、税前利益につきましては、前期は投資有価証券の売却473億円を計上しましたが、今期は特に大きな特損益はなく、551億円の増益となる3,840億円を見込み、当期純利益は464億円増益の2,530億円を計画します。



前期実績3,265億円から今期計画4,100億円へと、835億円の増益となる営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+940億円です。

ドルは約8円の円安で+884億円です。ユーロは約6円の円安で+19億円、カナダドルは約1円の円安で+7億円です。中国元で+8億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+22億円です。

<2>売上構成差等で+585億円です。

①新車国内は+81億円です。レヴォーグやWRXなど、新型車投入による数量増を見込みます。

②新車海外は+721億円です。販売拡大が続く米国をけん引役に、中国やカナダなどでも台数増加を見込み、前年を大きく上回る計画です。

③在庫調整等で-217億円です。

<3>原価低減で+117億円です。

富士重工が+120億円、SIAは-3億円です。富士重工では、原価低減が+159億円、原材料・市況等については-39億円を見込みます。SIAでは原価低減が+21億円、原材料等は-24億円と計画しています。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-568億円です。

①製造固定費の増加により-93億円です。そのうち、富士重工が-56億円、SIAは-37億円です。富士重工では、外製型費の減により+10億円、固定加工費は増加し-66億円です。SIAでは、外製型費の増により-14億円、固定加工費も増加を見込み-23億円です。

②販売管理費の増加で-376億円です。富士重工では、新型車導入に伴う費用の増加等から、-57億円を計画しています。国内ディーラーは-5億円、SOAは-200億円、カナダ子会社は-20億円、その他で-94億円です。

③クレーム費の減で-99億円です。

<5>試験研究費の増加で-239億円です。

以上で、2015年3月期の通期営業利益は、835億円の増益となる4,100億円を計画しています。

通期 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	11,005	13,421	+2,416
営業利益	184	484	+300
当期純利益	111	299	+188
小売販売台数(千台)	442.3	525.9	+83.6

SIA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	3,848	4,739	+891
営業利益	265	147	▲118
当期純利益	167	95	▲72
スバル生産台数(千台)	163.5	206.3	+42.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

SOAの通期小売販売は、フォレスターおよび新型レガシィ・アウトバックの好調な販売により、対前年8万3千6百台増の52万5千9百台を目指します。

売上高は対前年+\$2,416Mの\$13,421Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$500M、販管費の増-\$200Mにより、対前年+\$300Mの\$484Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し、+\$891Mの\$4,739Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差-\$78M、原価低減活動-\$3M、固定費増-\$37Mにより、対前年-\$118Mとなる\$147Mを見込みます。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 通期 実績 (a)	2015年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	412	685	828	1,200	+515
減価償却費	394	549	445	660	+111
試験研究費	433	601	549	840	+239
有利子負債	2,760	2,697	2,268	2,200	▲497

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債につきましては、各項目ともに、前回発表した内容からの変更はありません。将来商品に向けた研究開発など、計画に則った投資を行ってまいります。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数

第3四半期累計 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
金融収支	1	8	+7
為替影響	▲108	▲230	▲122
その他	▲12	4	+16
営業外収支	▲119	▲218	▲99
固定資産売却益	2	6	+4
投資有価証券売却益	472	9	▲463
固定資産除売却損	▲17	▲28	▲11
その他	▲1	▲5	▲4
特別損益合計	457	▲17	▲474

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

第3四半期累計 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 3Q累計 実績	2015年 3月期 3Q累計 実績	増減	2014年 3月期 3Q累計 実績	2015年 3月期 3Q累計 実績	増減
自動車	15,962	19,370	+3,407	2,203	2,973	+770
航空宇宙	846	980	+133	106	106	+0
産業機器	220	203	▲18	2	1	▲1
その他	56	55	▲1	18	17	▲2
消去・全社	/	/	/	4	5	+0
合計	17,085	20,607	+3,522	2,334	3,102	+768

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

第3四半期累計 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 3Q累計 実績	2015年 3月期 3Q累計 実績	増減	2014年 3月期 3Q累計 実績	2015年 3月期 3Q累計 実績	増減
日本	6,839	6,662	▲177	2,038	2,431	+393
北米	9,084	11,955	+2,871	434	773	+338
その他	1,163	1,990	+828	▲5	115	+121
消去・全社				▲133	▲218	▲84
合計	17,085	20,607	+3,522	2,334	3,102	+768

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

第3四半期累計 連結海外売上高



(億円)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
北米	9,640	12,688	+3,048
欧州	837	856	+19
アジア	916	1,675	+758
その他	904	970	+66
合計	12,297	16,189	+3,891

第3四半期累計 単独販売台数



(千台)

	2014年3月期 3Q累計 実績	2015年3月期 3Q累計 実績	増減
国内生産	482.3	528.2	+45.9
国内売上	131.2	115.3	▲15.9
登録車	90.9	91.0	+0.1
軽自動車	40.3	24.3	▲16.0
輸出台数	371.6	414.0	+42.4
海外生産用部品	124.3	164.3	+40.0
単独売上合計	627.2	693.7	+66.5

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

ご参考 (2)

- ・ 第3四半期(3か月) 連結業績
- ・ 第4四半期(3か月) 連結業績計画
- ・ 通期 連結業績計画 前回計画と今回計画との差

第3四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 3Q 実績	2015年3月期 3Q 実績	増減
登録車	25.1	27.1	+1.9
軽自動車	11.4	7.3	▲4.1
国内合計	36.5	34.3	▲2.2
米国	117.5	148.8	+31.3
カナダ	8.5	9.9	+1.4
ロシア	2.7	2.2	▲0.5
欧州	8.1	7.3	▲0.9
豪州	8.3	8.9	+0.6
中国	10.6	12.0	+1.4
その他	8.4	8.6	+0.2
海外合計	164.2	197.7	+33.5
合計	200.8	232.1	+31.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算7～9月 22

第3四半期 (3か月) 連結業績



(億円)

	2014年3月期 3Q 実績	2015年3月期 3Q 実績	増減
売上高	5,829	7,505	+1,676
国内	1,482	1,491	+9
海外	4,347	6,014	+1,667
営業利益	827	1,245	+418
経常利益	752	1,124	+372
税前利益	1,218	1,120	▲98
当期純利益	817	773	▲44
単独為替レート	¥99/US\$	¥110/US\$	+¥11/US\$

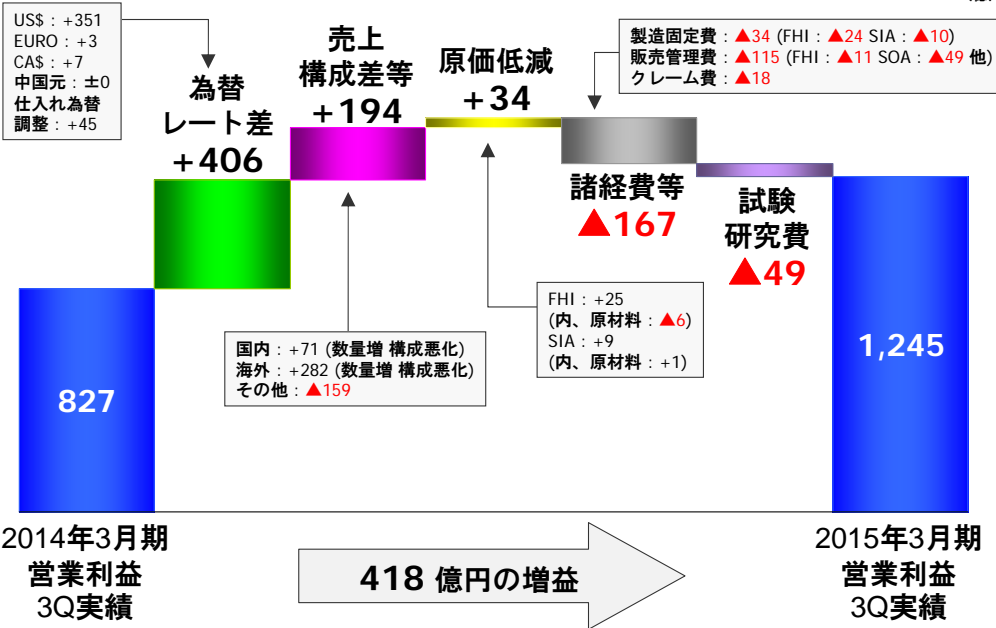
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

第3四半期 (3か月) 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

第4四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 4Q 実績	2015年3月期 4Q 計画	増減
登録車	39.3	40.8	+1.5
軽自動車	18.5	14.6	▲3.9
国内合計	57.7	55.4	▲2.3
米国	115.4	128.6	+13.2
カナダ	8.8	10.2	+1.4
ロシア	5.8	1.8	▲4.0
欧州	8.3	10.9	+2.6
豪州	9.9	10.4	+0.5
中国	15.2	13.1	▲2.1
その他	10.5	12.1	+1.5
海外合計	174.0	187.0	+13.0
合計	231.7	242.4	+10.7

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算10～12月 25

第4四半期(3か月) 連結業績



(億円)

	2014年3月期 4Q 実績	2015年3月期 4Q 計画	増減
売上高	6,996	7,893	+897
国内	1,933	2,065	+132
海外	5,063	5,828	+765
営業利益	931	999	+67
経常利益	930	1,036	+106
税前利益	618	973	+356
当期純利益	251	626	+376
単独為替レート	¥103/US\$	¥116/US\$	+¥13/US\$

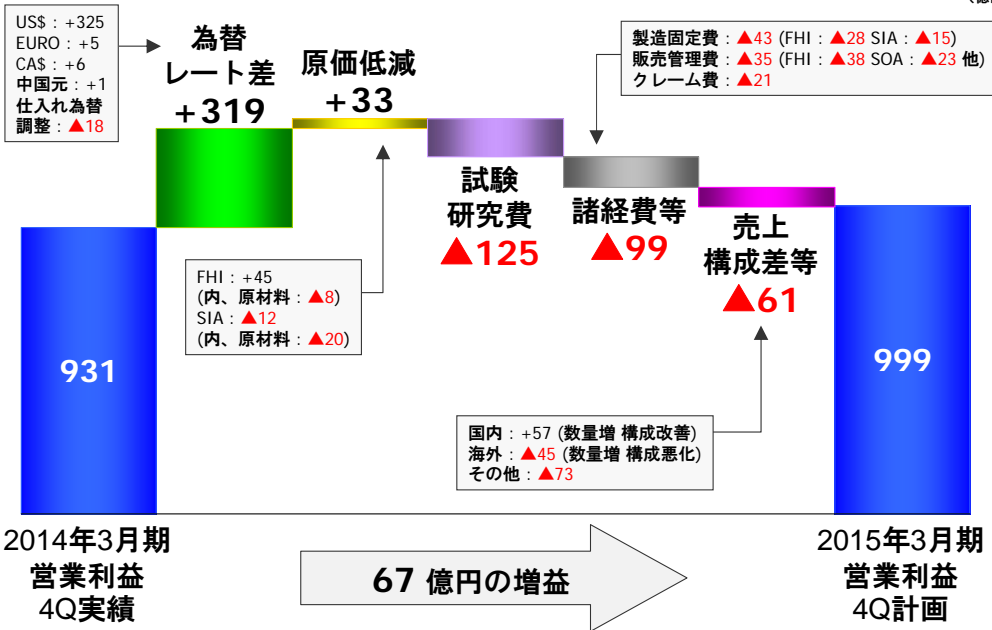
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26

第4四半期（3か月） 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

27

(前回計画対比)
通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 前回計画	2015年3月期 今回計画	増減
登録車	125.7	124.3	▲1.4
軽自動車	40.8	37.0	▲3.8
国内合計	166.5	161.3	▲5.2
米国	513.2	527.3	+14.1
カナダ	40.7	42.2	+1.5
ロシア	18.7	12.6	▲6.1
欧州	36.0	33.8	▲2.2
豪州	38.2	38.6	+0.4
中国	60.0	53.8	▲6.2
その他	36.1	36.6	+0.4
海外合計	742.8	744.8	+2.0
合計	909.4	906.1	▲3.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 28

(前回計画対比)
通期 連結業績



(億円)

	2015年3月期 前回計画	2015年3月期 今回計画	増減
売上高	27,800	28,500	+700
国内	6,582	6,483	▲99
海外	21,218	22,017	+799
営業利益	3,820	4,100	+280
経常利益	3,700	3,920	+220
税前利益	3,640	3,840	+200
当期純利益	2,410	2,530	+120
単独為替レート	¥104/US\$	¥108/US\$	+¥4/US\$

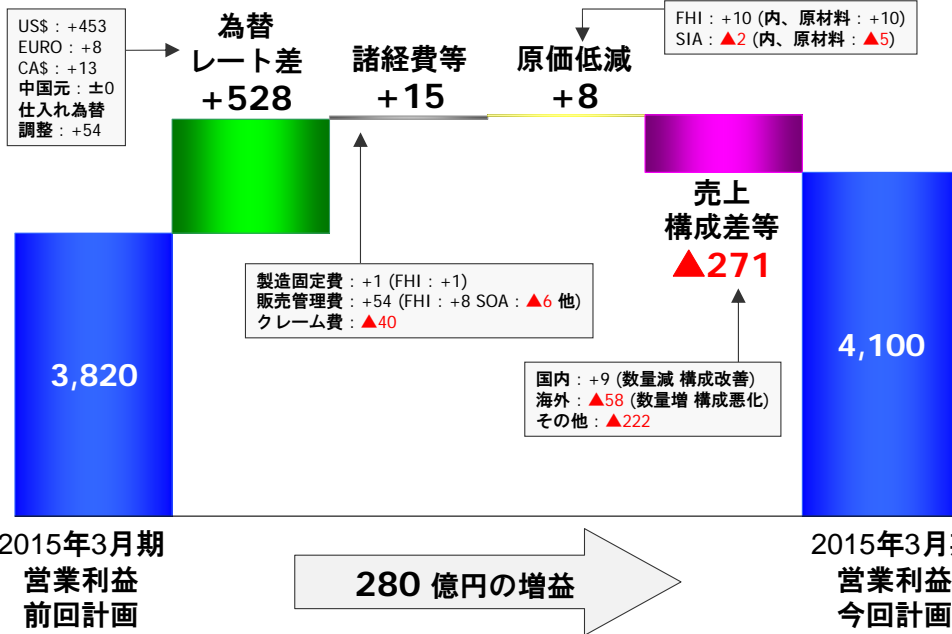
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

(前回計画対比)
通期 営業利益増減要因



(億円)



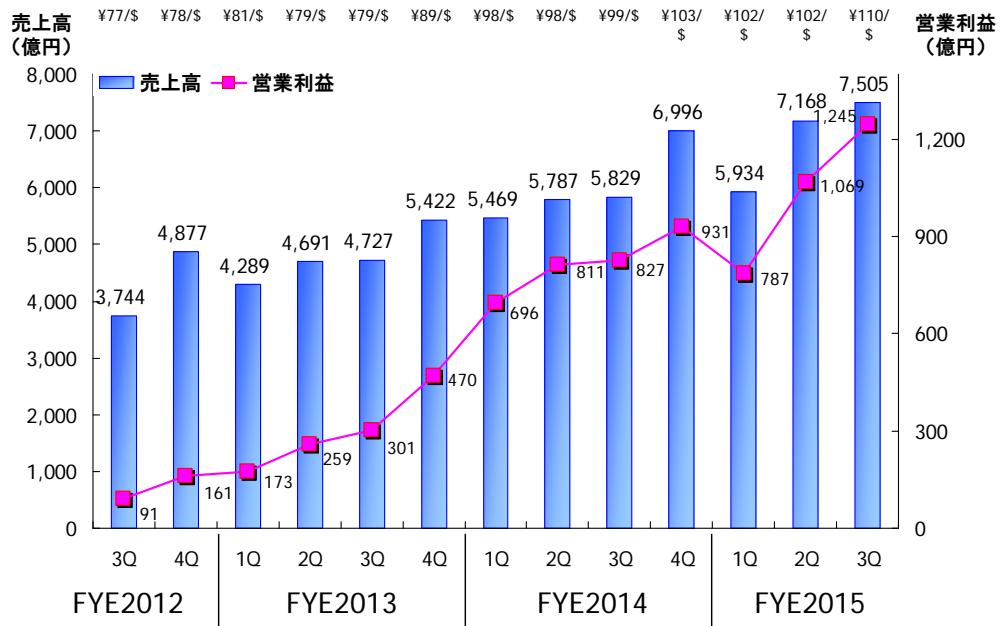
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

30

ご参考 (3)

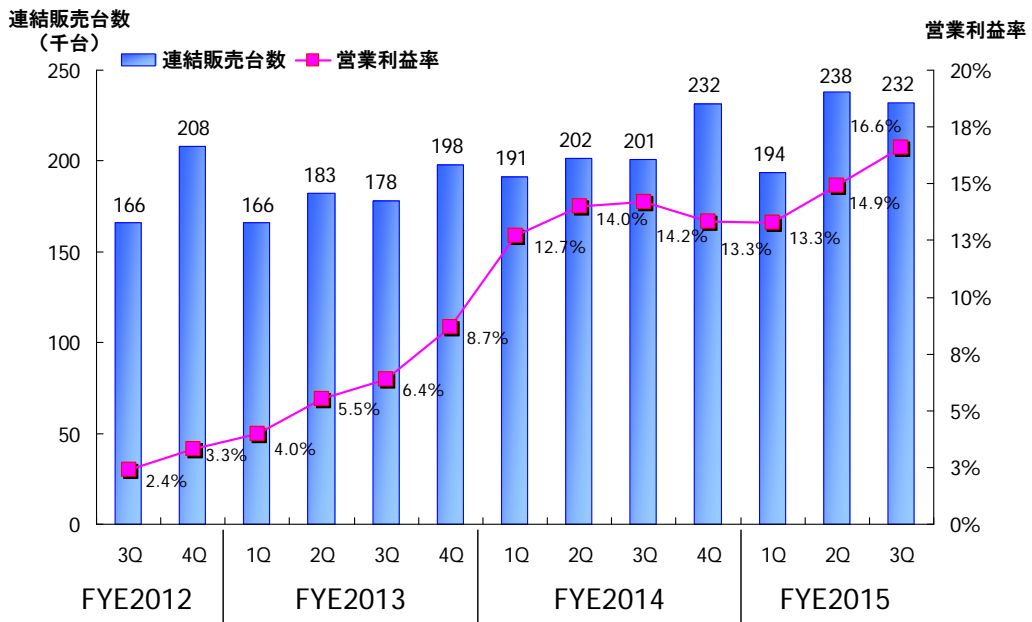
- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



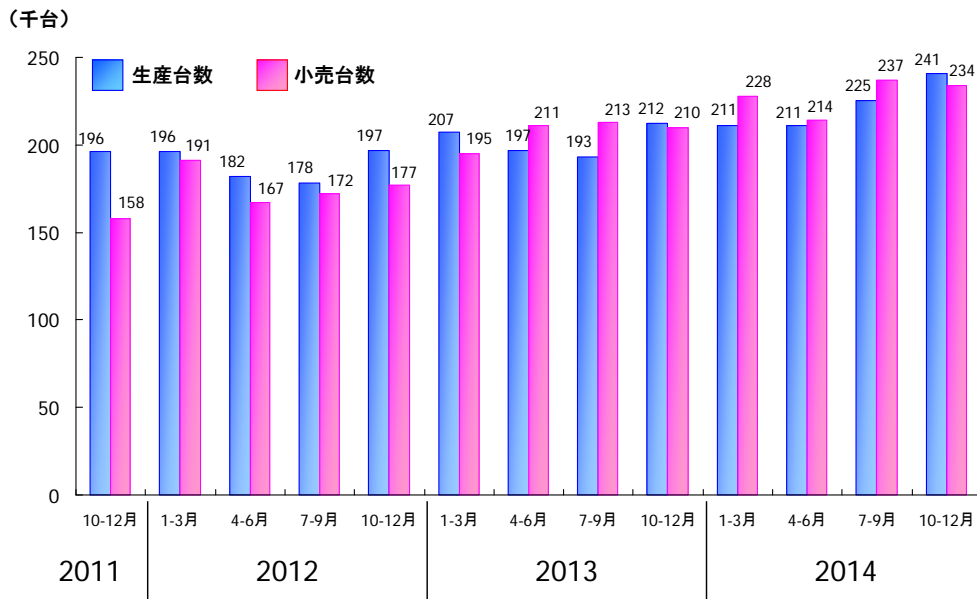
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

連結販売台数 / 営業利益率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

生産台数 / 小売台数 推移

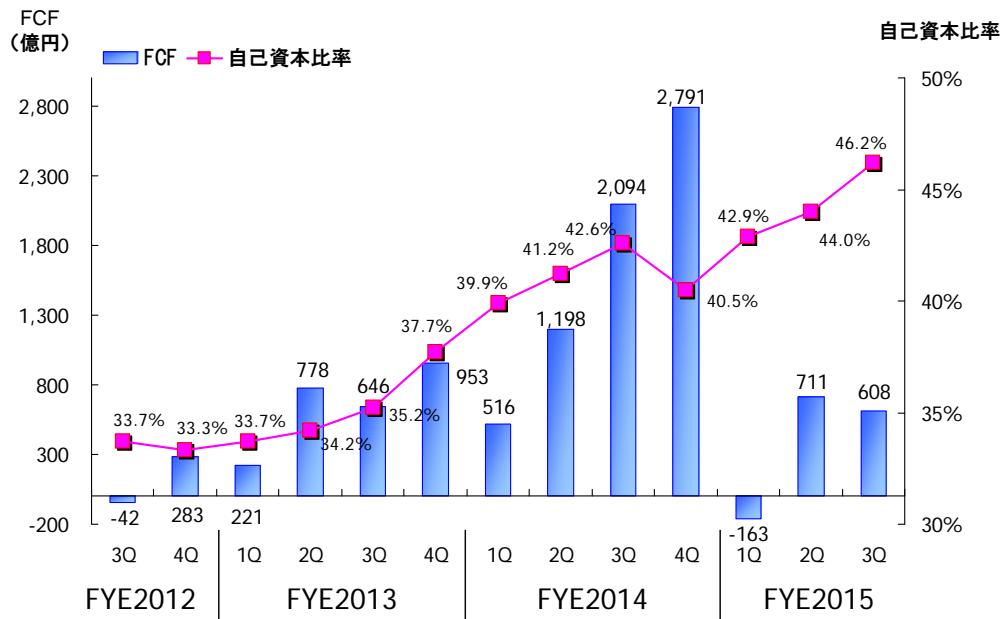


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

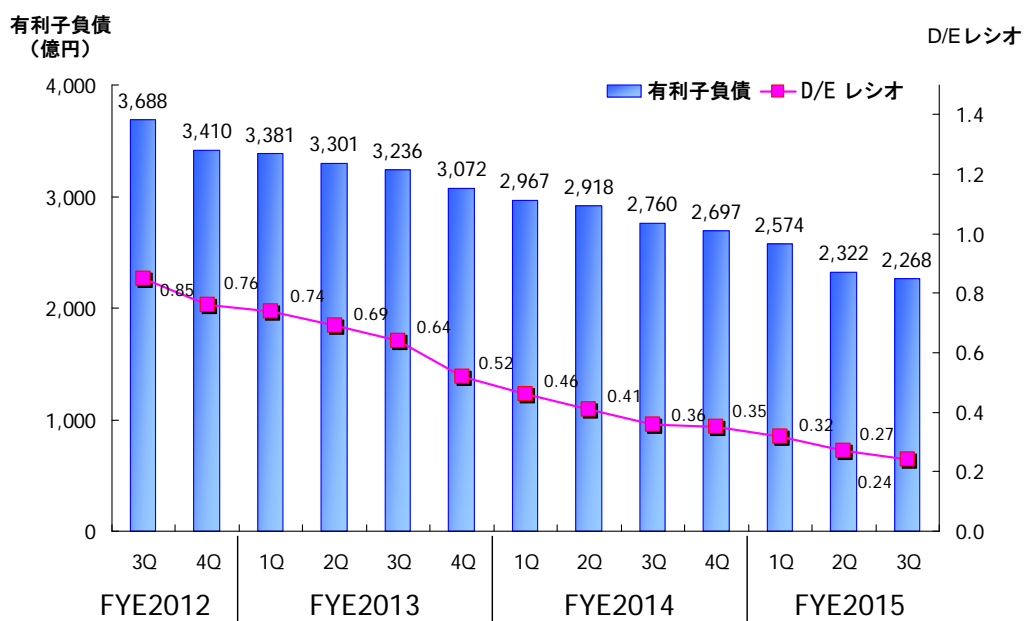
34

FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

第3四半期 主な広報発表案件



(発表日)

商品関係

- 新型レガシィ アウトバック／B4を発売 (10/24)
- 運転支援システム「EyeSight」を欧州市場へ初展開 (11/7)
- 新型アウトバックを2014年広州国際モーターショーに出展(11/13)
- インプレッサSPORT/G4、SUBARU XV、フォレスターを改良、フォレスターtSを発売 (11/25)
- レヴォーグ1.6GT EyeSight S-styleを発表 (12/11)
- 新型ステラを発売 (12/12)
- サンバーパン ブラックインテリアセレクションを発売 (12/19)

受賞関係

- レヴォーグが2014年度グッドデザイン賞を受賞 (10/1)
- 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業（平成26年度）に選定 (10/15)
- 「アイサイト」を搭載する3車種が「先進安全車プラス（JNCAP ASV+）」に選定 (10/23)
- 2015年型インプレッサが米国IIHSの2014年安全評価で最高評価「TSP+」を獲得 (11/28)
- レガシィ アウトバック／B4が最高評価のJNCAP「先進安全車プラス（ASV+）」に選定 (12/4)
- 1.6ℓ インテリジェント"DIT"が平成26年度日本燃焼学会「技術賞」を受賞 (12/5)
- アウトバックが欧州の2014年安全性能総合評価で最高評価「ファイブスター」を獲得 (12/5)
- 水平対向直噴ターボエンジンが米国ワーズ社の「10ベストエンジン」賞を受賞 (12/12)
- 米国IIHSの2015年安全評価で「トップセーフティピック（TSP）+」を5車種が獲得 (12/24)

その他

- 2014ジャパンカップサイクルロードレースを特別協賛 (10/9)
- 「ゲレンデタクシー2015」を開催 ～長野・北海道のスキー場 全3会場で実施～ (12/15)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

37



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみにも全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>